



3月の地域行事予定

3/09(土)	日野南地域ささえあいネットワーク連絡協議会	(ケアプラザ)
3/23(土)	日野南小地域防災拠点運営委員会	(自治会館)
3/23(土)	日野南地域安全安心まちづくり協議会	( 〃 )
3/23(土)	日野南連合自治会定例理事会	( 〃 )
3/24(日)	わかばの会(社協)	(ケアプラザ)

## 新年のご挨拶 (平成 25 年をむかえて)

会員の皆さまこんにちは。新年を迎えて新しい気持ちでご挨拶させていただきます。今年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、早いもので東日本大震災から既に2年を経過しましたが、まだまだ被災現地では復興が思うように進んでいないとの報道がマスコミなどから伝わっているのは皆さまご存知のとおりであります。また被災された方々にとっては心中いかにばかりかと思えますと、非常に残念なこともあります。

私達はこの震災で多くのことを学びましたことは昨年も皆様にお伝え致しましたが、最近でも国の内外で大きな地震が頻発しており、いつときとして油断ができない状況です。私も立場上緊張の連続であります。(昨年より防災拠点運営委員長を兼任)さて、私達の日野南地域としては、災害は止められませんが発災後いかに被害を最小にして一刻も早く復興できるように、日ごろの心がけや準備を皆様と共に創って

いかなくてもなりません。

一方では、高齢化の波はこの地域も例外ではありません。皆様もご存知かと思いますが、最近この地域での一人住まいの増加、空き地、空き家なども目に見えて増えている状況です。これは防犯・防災上も問題がありますが、一番の問題は見守り・支え合いの絆が断絶してしまうことです。

ここ日野南は以前より「向こう三軒の助け合い」の機運が強い横浜市内でもモデル地区と言われている地域であります。昨年、港南区連合町内会長連絡協議会(区連会)は行政と連携して「見守り宣言」を行いました。これは、防災とか防犯など個別な課題を一つ一つ解決していくのではなく、連合自治会と行政関係部門、地区社会福祉協議会、日野南小防災拠点委員会などいろいろな組織と横断的に連携して、高齢者をはじめ災害時要援護者、ハンディのある方々、子育て中の方々な

どと平時においても連絡を保ち、見守り・支え合いが出来易いような体制を、皆様と共に知恵と力を出し合って創っていきたいと考えてのものです。

それが災害時には強力な減災活動に結び付き、日ごろの防犯対策や地域の特に高齢者や子どもたちが安全で安心な生活を守っていく手立てとなるものです。

今年はこの「見守り宣言」を皆さんと共有のスローガンとして、日野南連合自治会地域の日々の安全と安心を創りあげていきたいと考えております。

これに加えて、環状3号線拡幅工事に伴う新規バス路線の導入などこの時期ではできない課題にも挑戦していきたくております。皆様の更なるご健勝をお祈りするとともに、以上の課題に対する絶大なご理解・ご支援をお願い申し上げ新しい年の挨拶と致します。

日野南連合自治会 会長 淡路 伸勝

### 環状3号線4車線化計画進展状況報告 (環状3号線分科会)

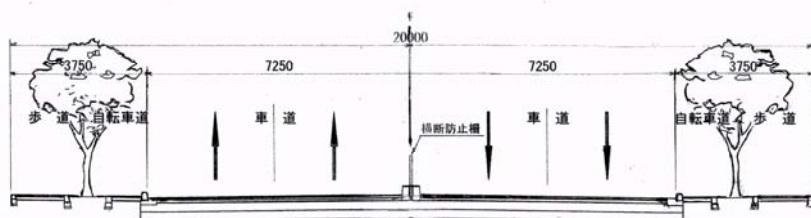
横浜市道路局より計画の進展状況及び今後の予定について説明を受け、打合せをおこないました。その概要について地域の皆様にご報告いたします。

昨年4月より開始された基本設計は3月末で完了する見込みですが、その基本方針は中央分離帯を狭め、車道として再整備して4車線化することです。1月末現在の基本設計結果は当地域の要望をかなり取り入れており、その概要(一例)は以下の通りです。

- ① 交差点部には右折帯を付加する。
- ② 4車線化に伴い、歩行者の安全を確保するため信号のない横断歩道は廃止する。
- ③ 歩行者空間と自転車走行空間を設ける。
- ④ 現在の街路樹は撤去し、既存の街路樹に代わる緑を確保する。
- ⑤ 低騒音舗装による交通騒音の低減を図るなど、交通環境を改善する。

なお、上記内容は現段階での計画案となっており、警察との協議により変更の可能性があるとのことです。今後の予定は未確定ですが、概略のスケジュールは次の通りと聞いています。

今後のスケジュール 平成25年4月～ 詳細設計・警察との協議調整  
 ～平成26年3月 設計完了・地域説明会の開催  
 平成26年度～ 工事実施



### 港南区合同表彰式受賞団体紹介

次の団体が、24年度功労者表彰を受賞されることになりました。メンバーの皆様に日頃の活動に経緯を表し感謝申し上げます。

名 称：港南区安全安心まちづくり・ヨコハマ3R夢合同表彰式  
 日 時：3月12日(火) 13:30～16:20  
 会 場：港南公会堂

#### 受賞団体

- ・港南区安全安心推進まちづくり協議会 防犯功労者表彰  
「みちの会・野村港南台Sグループ」
- ・港南区安全安心推進まちづくり協議会 交通安全功労者表彰  
「日野南小学校交通安全パトロール隊」
- ・港南区街の美化・3R夢プラン 推進功労者表彰  
「野村港南台自治会・環境部」



## 日野南連合自治会地域のイベント

### 地域合同おたのみひ会

開催日時：2013年1月12日(土) 10:00~14:30  
 会場：日野南小学校体育館棟・教室棟・運動場  
 主催団体：地域合同お楽しみ会実行委員会  
 今年も恒例のお楽しみ会が、晴天にも恵まれ大勢の地域の皆様の参加を得て盛大に行われました。(今年で14回目です)  
 参加者は小学生400名、未就学児童100名 合計500名  
 出演中学生・地域の皆様・保護者・スタッフ等 400名  
 子供たちは体育館でのイベント・演奏会やゲームや食事を楽しんでくれたと思います。また来賓として港南区長・港南区の連合町内会長・近隣町内会長(港南区・栄区)の方々にもご参加いただきました。  
 ※お楽しみ会は地域の自治会・団体と小学校・PTA等が協力して開催しています。今年は次の自治会・団体に協力いただきました。  
 参加自治会 日野南連合・野村港南台・港南つつじヶ丘・グランヒルズ・NTT日野町・原南・藤が沢公務員住宅・ローレルスクエア・ライオンズヒルズ  
 参加団体 日野南小学校・PTA・おやじの会・はまっ子・地区社協・民児協・青少年指導員・スポーツ推進員・豚汁ボランティア・市民図書 (お楽しみ会実行委員会事務局)



### 警察協議会からのお知らせ

- 各種防犯対策をまとめてみました。参考にしてください。
- 住居侵入(空巣・忍び込み)対策
    - 玄関・窓に補助錠取付二重ロック ○外出時・就寝前の施錠確認
    - 道路からの見通しを良くする(生垣刈込・塀を低く)
    - 長期間の留守時は隣近所に事前連絡する
  - 自転車・自動二輪車盗対策
    - 自転車 一鍵をかけロックを二重にする。
    - 自動二輪キーを抜きハンドルロックをかける。
  - 器物損壊(車体の傷つけ)対策
    - 門扉・鎖等で道路との仕切り施工 ○自動車にカバーをかける。
  - 振込め詐欺(おれおれ詐欺など)対策
    - 肉親からでも携帯電話の番号変更連絡電話は振込め詐欺とまず疑う。
    - 振り込む前に近くの人(親族・友人)や警察・金融機関に相談する。
    - 手渡し型(現金・キャッシュカード取りに来る)にも注意
  - ひったくり防止対策
    - バックは車道と反対側に持つ。○遠回りでも明るく広い道を利用。
    - 後方からくるオートバイ・自転車にも注意を払う。
    - 歩行中には携帯電話・メールを使用しない。(注意力薄れ危険)
    - 自転車のかご(前・後)には防犯ネットをつけておく。

(杭瀬防犯指導員)

### 日野南アート展

開催日時：2012年11月17日(土) 9:30~17:00  
 18日(日) 9:30~15:00  
 会場：日野南コミュニティハウス  
 主催団体：日野南連合自治会(日野南コミュニティハウス共催)  
 毎年地域住民の作品出展を募り開催しております恒例のアート展を、今年は港南区文化推進事業として後援を受け開催いたしました。  
 今回は 出展点数164点(112名)の方に出展いただき、470名の方が来場されました。また会場には喫茶コーナーも設けられ、来場者の皆様の懇親を深める場ともなっておりました。  
 開催にあたり準備・運営にご協力いただきました、連合自治会役員・各自治会役員やボランティアの皆様ありがとうございました。  
 今後ともこの催しが一層の地域交流を深め、趣味の輪を広げる場となるよう願っております。  
 (江水アート展実行委員長)



### “日本の宇宙開発を知ろう” 見学会

開催日時：11月11日(日) 9:00(出発) ~ 17:00(帰着)  
 訪問先：宇宙開発機構(JAXA)相模原キャンパス見学  
 及び全天空映画鑑賞(相模原博物館)  
 主催団体：日野南連合自治会  
 港南区のこども“ゆめ”応援事業として支援を受け、地域の小学生を対象に貸切バスを利用しての見学会を計画・実施いたしました。  
 当初バス1台で計画し募集いたしましたが、多数の応募があり地域の自治会や団体の資金協力を得て応募者全員参加で開催することができました。  
 (参加者は同行保護者を含め92名)  
 JAXAキャンパスでは、ロケット前で全員の集合写真を撮り、その後各々で小惑星探査機「はやぶさ」等人工衛星の模型を見学したり、スタンブラリーなどで楽しみました。昼食の後、徒歩で相模原市立博物館に行き、博物館にある展示物の見学やプラネタリウムでの「はやぶさ」が「小惑星イトカワ」まで行き、数々の困難を乗り越えて帰還する探検の旅を迫力あるCG(コンピュータグラフィックス)で再現された映像を見ました。  
 帰りはあいにくの雨となりましたが、参加児童・家族一緒に楽しんでもらった企画だったと思います。  
 (森田地区青少年指導員会長)

